

「金色の風」に適する肥効調節型肥料

【1 成果概要】

- (1) 7月上旬及び減数分裂期頃に時期別窒素溶出が大きくなりますが、稈長伸長へ影響しない「金色の風」の専用肥料(以下、専用肥料)を開発しました。
- (2) 基肥と減数分裂期追肥に速効性肥料を用いた栽培(以下、対照)と比較し、登熟歩合と千粒重がやや小さいものの、一穂粒数が同等かやや多いことで収量はほぼ同等となります。
- (3) 玄米タンパク含有率や検査等級等の品質は対照と同等となります。

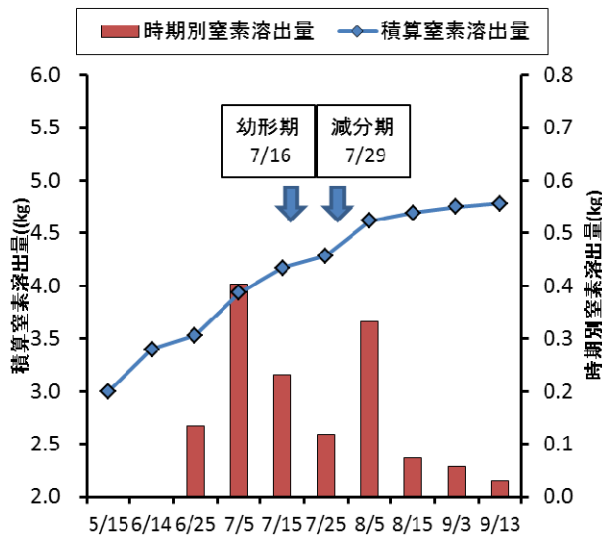


図1 積算窒素溶出量と時期別窒素溶出量

専用肥料の窒素構成
速効性肥料:LP50:セラコート R70
=60:10:30

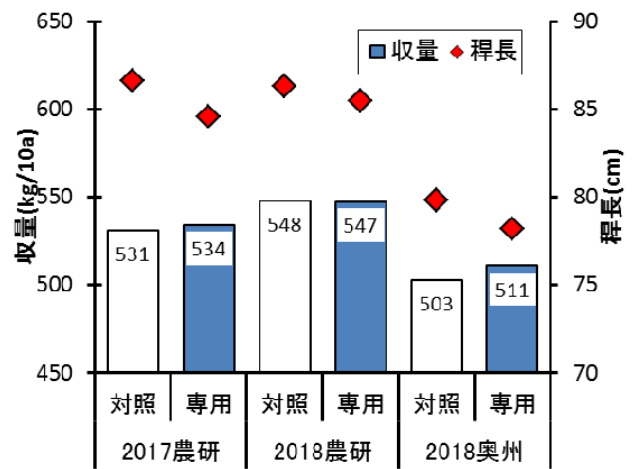


図2 稈長と収量

場内2ヵ年と奥州での試験の結果、専用肥料の収量は対照と同等で、稈長はやや短くなりました。

表1 収量構成要素と品質

年次	試験区	穂数 (本/m ²)	一穂粒数 (粒)	m ² 粒数 (千粒)	登熟歩合 (%)	千粒重 ^{注2} (g)	玄米タンパク含有率 ^{注3} (%)	検査等級
2017	対照	408	62.7	25.7	88.7	24.1	7.3	1等
	専用肥料	405	63.7	25.8	86.8	23.9	7.0	1等
2018	対照	397	64.5	25.6	91.7	23.8	7.6	1等
	専用肥料	394	64.3	25.3	91.5	23.8	7.3	1等

登熟歩合と千粒重がやや小さいものの、一穂粒数が同等かやや多いことで収量は対照とほぼ同等となります。また、品質も対照と同等です。

【2 留意事項】

- (1) 本試験の専用肥料の窒素施用量は対照の窒素施肥量の8割としています。現地での活用の際は慣行の施肥量や、圃場条件を考慮の上で決めてください。
- (2) この肥料は今後県内で市販される予定です。

担当研究室 環境部 生産環境研究室

〒024-0003 北上市成田 20-1 TEL. 0197-68-4422 FAX. 0197-71-1085